



24時間365日、安全で、円滑な高速道路へ

道路管制センターと交通管理隊

24時間365日の安全・安心を守るため、道路管制センターと交通管理隊が、24時間体制で道路上の各種設備や道路巡回により様々な情報を収集し、事故・落下物等への緊急対応やお客さまへの情報提供を行っています。



Voice 交通安全への道は、出発前から始まります

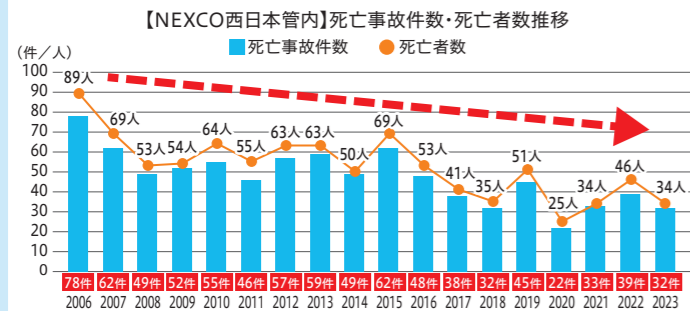
交通管理隊は、24時間体制での道路巡回により道路状況・交通状況・気象状況等を把握し、お客さまへ安全・安心で快適な道路を提供することに努めています。高速道路上で故障等により停止した場合、事故を誘発する恐れもあり、大変危険なことから、SAやPA等でお客さまに車両の出発前点検の重要性をご説明するなど交通安全啓発にも力を入れています。



高速道路走行中に落下物等の道路異常を発見した際は、**道路緊急ダイヤル #9910**へ

西日本高速道路パトロール中国(株) 千代田基地 早川 あさ美

安全運転の啓発



死亡事故件数は徐々に減少していますが、未だ多くの尊い命が失われています。

SNDプロジェクト

—交通事故をゼロにするための危険運転撲滅プロジェクト—

当社と阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社共同で、高速道路での交通事故につながる「ながら運転」による危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT(通称SNDプロジェクト)」を推進しています。



SNDプロジェクトでは、ともに行動・応援いただけるサポーターを募集しています。「ながら運転」撲滅へのメッセージとサポーター登録はこちら



SNDプロジェクト
冬のメッセージキャンペーン
グランプリ作品(2024)



『まだ大丈夫』は『少し休もう』のサインです。

テーマ 疲れながら運転(埼玉県/中野 様)



(株)エフエム大阪によるSDDプロジェクトと連携し、大阪城ホールで開催された『LIVE SDD 2024』の観客約1万人へ「ながら運転」の危険性を啓発する取り組みを行っています。

冬のメッセージキャンペーングランプリ作品を基にした朗読劇



SDD:STOP! DRUNK DRIVING=飲酒運転撲滅活動

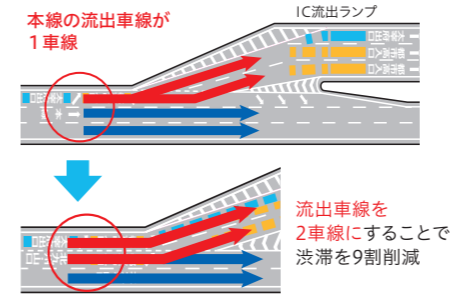
渋滞対策

快適な走行と交通安全のため、ハード対策とソフト対策の両方から、渋滞対策を推進しています。

ハード対策

- 渋滞しない道路を目指す
1. ネットワークの強化 (P.23~29)
 2. 車線幅 (P.23,27,28)
 3. 車線運用の変更
 4. ETC利用率向上

渋滞状況を踏まえた車線運用の変更(太宰府IC)



Voice 渋滞を緩和するために

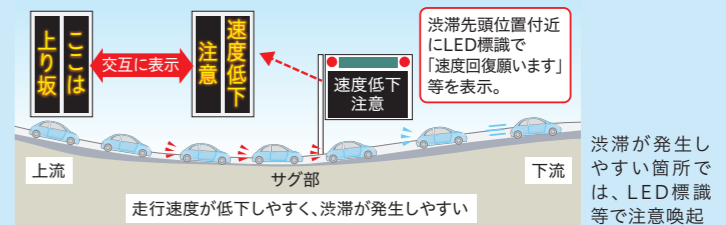
高速道路をご利用の際の一番のストレスは渋滞ではないでしょうか。そんな渋滞を避けられるよう、私たち渋滞予測士は年間を通じて渋滞を予測し、発表しています。ゴールデンウィークや3連休など、お出かけ前にはぜひ渋滞予測カレンダーをご確認ください。

九州支社 保全サービス事業部 交通計画課 渋滞予測士 松下 聖史

ソフト対策

交通分散を促す

1. 渋滞予測ガイド・テレビ・ラジオ等による広報
2. LED標識等による速度低下等の注意喚起
3. 休日割引の対象日からGW等の繁忙期を除外 (P.32)



渋滞が発生しやすい箇所では、LED標識等で注意喚起

逆走対策

高速道路での逆走は、死亡事故等の重大な事故につながる可能性が高く、正しく走行している車両をも巻き込む可能性のある極めて危険な行為です。当社では、「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」を目指し、効果的な対策を見定め、高速道路での逆走事故の撲滅に取り組んでいます。

- 年間70件程度の逆走事案(事故または確保)
※事故に至るのは10件程度
- 65歳以上の高齢者によるものが7割近くを占める
- 逆走事故は、死傷事故・死亡事故となる割合が高い
(高速全事故に対して、死傷事故5倍、死亡事故40倍)



(左) 逆走車両に対する防眩板応用注意喚起
(右) 一般道接続部のカラー舗装(逆走・誤進入防止)

無くそう 逆走

逆走は命にかかわる危険行為です。
逆走しない、させない、事故にしない



正面衝突の防止

反対車線への飛び出しにより正面衝突につながりやすい暫定2車線区間では、区画柵の設置・検証を実施しています。

区画柵を設置済みの箇所では、正面衝突による死亡事故が0件となりました。(2024年3月現在)



ワイヤロープ



センターブロック



センターパイプ

降雪時の交通確保に向けて

基本方針 「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」

冬の高速道路の安全・安心を確保するため、上記基本方針のもと、凍結防止剤散布作業や除雪作業等、高速道路の安全で円滑な交通確保に向けて各種対策に取り組み、大雪時の雪氷対策の強化を図っています。

また、2023年1月に名神・新名神で発生した大雪による大規模な車両滞留事象の課題を踏まえ関係機関と連携し、対応を実施しています。

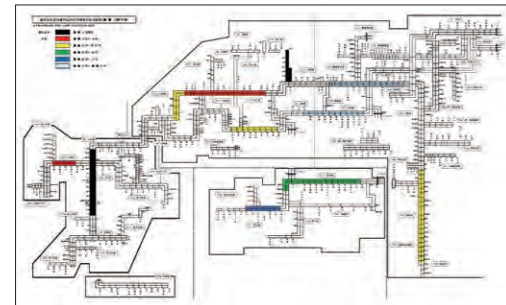
気象予測情報により大雪が予測される場合は、立ち往生車や滞留車が発生する前に躊躇なく通行止めを行うことを想定し、以下のオペレーションを基本として実施します。



大雪時のタイムライン

段階	国・自治体・警察・気象台など	NEXCO西日本	高速道路利用者への呼びかけ				テレビCM ラジオCM YouTube	道路情報板
			記者発表	ウェブサイト	X LINE	高速道路影響情報サイト		
1週間前	気象情報の共有など	通常の雪氷体制			冬装備 安全運転	冬装備 安全運転	冬装備 安全運転	
3日前	情報連絡本部での連携	体制強化 ●応援派遣 ●協力要請 (災害協定事業者など)	大雪が予想される地域と時期 注意喚起・出控え・予想される通行止め区間				出控え (切替)	注意喚起
1日前	大雪に関する緊急発表		通行止め可能性区間と時間帯 ※概ね6時間毎に見直し					
降雪中	●情報の一元的収集・共有 ●関係機関での各種調整・協議 ●道路利用者や地域住民への情報提供	立ち往生車・車両滞留発生前に 予防的通行止め 集中除雪	【通行止めの場合】 ●通行止め区間 ●作業状況・解除見込みなど				冬タイヤ装着 /チェーン携行 規制情報 通行止め等	

管理限界を超える大雪が予測される場合、概ね2日前から通行止め可能性MAPを公表します



お出かけ前には、リアルタイム交通情報を提供しているi-Highway (アイハイウェイ) のウェブサイトやスマホアプリ、X (旧Twitter) のご確認を



リアルタイム交通情報

i-Highway
ハイウェイ交通情報サイト

スマホアプリ

ウェブサイト

X

お客さまご自身の命を守るためにも、「大雪に関する緊急発表」や「大雪警報」等が出されるような大雪への警戒が特に必要な場合には、不要不急の外出をお控えいただくとともに、広域的な迂回、出発時間の変更などをお願いします。

お出かけ前のお願い

- お出かけ前には最新の交通情報を確認してください。
- 冬の高速道路は、冬用タイヤで走りましょう。
- タイヤチェーンは常に用意しましょう。

荷主企業・運送事業者の皆さまへのお願い

大雪の影響に伴う広範囲の通行止めが予測される際には、気象予測等をご確認いただき、**広域迂回の実施や通行ルートの見直し、運送日の調整**などのご協力をお願いします。

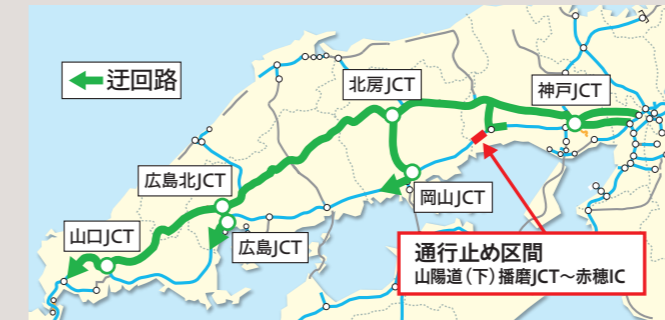
走行中のお願い

- 雪道の走行では、『急ハンドル』、『急加速』、『急ブレーキ』は厳禁です。速度は控えめに、車間距離は通常時より多めにとりましょう。
- インターチェンジ入口や本線等に設置された情報板及びハイウェイラジオにより気象状況等をお知らせしております。目的地までの情報に注意して走行してください。
- 凍結防止剤散布や除雪作業を行っている雪氷対策作業車とは車間距離を十分にとり、後ろをゆっくりと走行してください。

山陽道 尼子山トンネル 火災事故の復旧

焼け落ちたトンネル

山陽道(下)播磨JCT～赤穂IC 尼子山トンネルにおいて、2023年9月5日に大規模な火災事故が発生。8名の方が負傷され、焼損車両23台、事故車両9台となったトンネル火災は、消防により鎮火が宣言されるまで40時間以上を要し、炎と熱の影響で、トンネル内部はコンクリートが剥落し、照明設備等も焼け落ちる等、甚大な被害を受けました。



めざせ『早期解放』

通行止めとなった山陽道は、日本の東西物流幹線の一翼を担う重要路線です。一日も早い復旧が求められました。経験のない甚大な被害状況により、当初は復旧が見通せない状況でしたが、学識者を招いた技術検討会等を重ねながら、安全を第一に、慎重かつ迅速に復旧を進めました。

責任者の声

年末年始を3ヵ月後に控えていたこともあり、一日も早く復旧し、社会インフラとしての責務を果たすため、当社・グループ会社・施工会社29社が一体となって24時間体制を取り、復旧に当たりました。

関西支社 姫路高速道路事務所 所長 吉田 英樹

地域の生活・経済への影響を、最小限に

現場での復旧工事だけでなく、一般道等迂回路での渋滞による社会的影響を最小限にするべく、「みちトク迂回クーポン」の発行による広域迂回の促進や、ウェブサイトやテレビCM等での情報発信を行いました。

地域の声

中国道への迂回など渋滞対策をはじめ、総力を挙げて取り組んでいただき、類例を見ないスピードで、約3ヵ月後の12月15日に復旧しました。改めて、ご尽力に対し厚くお礼申し上げます。

お陰で、市内の一般道への流入による渋滞等も最小限の影響にとどまり、現在は事故前の交通量に戻り、市民生活の安全安心が確保され、経済活動も円滑に進んでおります。本市では、牡蠣のシーズンにも間に合い、山陽道 赤穂ICから大勢の観光客を迎えることが出来ました。

兵庫県 赤穂市 牟禮 正稔 市長



セトルによる覆工コンクリートの打設(内巻補強工)

火災を受けたコンクリートの撤去・復旧工事を担当しました。前例の無い火災に対する緊急復旧のため全てが手探り状態でしたが、『早期解放』の使命感のもと施工準備を行い、設備等は施工進捗に合わせて適宜改善しました。24時間体制を整え、①切削重機を長時間フル稼働できるメンテナンス体制の確保、②覆工コンクリートを毎日打設するためセトルを2基使用、③狭隘な坑内において輻輳する他業者との綿密な工程調整などを実施。予定より早く次の工程に引き渡すことで早期通行止め解除に貢献ができて、ほっとしました。

施工会社の声

鹿島建設(株) 向 弘晴 所長



約3ヵ月の短期間で復旧を完了し、2023年12月15日に通行止めを解除